

大東京信用組合 2020年度上半期 ディスクロージャー誌〈情報編〉

大信 Report

2020

大信の現状を知る編

2020年4月1日から
2020年9月30日まで

大信の現状についてはこちらから

地域の発展
お客さまの繁栄のために



金融仲介機能を遺憾なく発揮し、 皆さまとともにコロナ後の新



会長 柳沢 祥二

皆さまには平素より大東京信用組合に格別なご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も、令和2年度9月期の業務内容を取りまとめた「大信Report2020」を作成いたしました。

本誌をご高覧賜り、当組合に対するご理解をさらに深めていただければ幸甚に存じます。

さて、上半期、コロナ禍における日本経済は、政府による特別措置の雇用調整助成金などの支給や“Go To キャンペーン”の実施等により、雇用・所得環境が夏場以降持ち直しの動きが見られましたが、ここへ来て再び感染が急拡大、新規感染者が過去最多となるなど、“Go To キャンペーン”の見直しも図らざるを得ない状況にあります。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化していることにより、新たな生活様式への対応等構造的な変化の影響も要因となり需要が縮小、景気回復の遅れが懸念され、先行きの不透明感は増しております。

このような状況下、当組合は金融仲介機能を遺憾なく発揮することにより“お取引先の事業を停滞させない!”という覚悟でお客さまに寄り添うとともに、新たな相互扶助の取組みとして“金融支援”だけでなく、非金融分野を含めた“本業支援”につきましても積極的に取組んでおります。詳しくは本誌内、「新型コロナウイルス感染症への取組み」をご覧ください。

さて、当組合の業績ですが、預金は6,484億円、前期末に対し447億円、貸出金は3,417億円、前期末に対し238億円それぞれ大幅な増加となりました。また、本年3月から9月までの新型コロナウイルス感染症に係る融資の取組み実績は5,091口座、金額で約753億円に上りました。これも偏に、皆さまが厳しい実情の

経営理念

組合員
(お客さま)

相互扶助の
精神

大信

職員

『大東京信用組合は、
地域に密着し地域社会に奉仕する。』

私たちは、組合員、お取引先の皆さまとの「心・ふれあい（ハート・トゥ・ハート）」の信頼関係を大切にしております。

また、中小企業金融の円滑化と地域経済の活性化に取組み、良質な金融サービスの提供と信用組合ならではの独自性の発揮に努め、ベストパートナー・バンク(身近で頼りになる大信)を目指し、地域社会とともに歩んでまいります。

しい社会を築いてまいります。

中で当組合をお選びいただいた結果と感謝申し上げる次第です。

一方、収益面では一般的に営業利益に近い「業務純益」、そして「経常利益」「当期純利益」、いわゆる利益三部門において中間期の計画を上回る実績を確保することができました。

また、健全性を示します不良債権比率は2.59%と過去最低水準となり、自己資本比率は9.30%と高い水準を維持しております。

今年度は、前中期経営計画である「新・第1次中期経営計画(Yプラン)」を受け継いだ「新・第2次中期経営計画(Zプラン)」2年目の重要な年度であり、3年目へと繋ぐ、大事な年となります。

昨年に引き続き、人材の育成をメインに、3つの重点施策「人材の育成」「経営体質の強化」「収益構造の再構築」の達成に向け取り組んでおります。

今後もどのような環境においても、着実に「本物のお客さま本位」を目指し、相互扶助の精神であります人と人との「心・ふれあい」を最も重要なことと位置づけ、役職員一同従前にもまして全力を尽くしてまいります。

また、資金供給といった金融サービスにとどまらず、お客さまの幅広いニーズにお応えし「共通の価値」の創造を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、一層のご指導、ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和2年11月

大東京信用組合 会長 柳沢 祥二
理事長 内田 通郎



理事長 内田 通郎

組合概要

名 称	大東京信用組合 (略称:大信)	自己資本の額	32,855百万円
所在地	東京都港区東新橋2-6-10	自己資本比率	9.30%
創立	1952年(昭和27年) 9月6日	店舗数	44店舗
理事長	内田 通郎	職員数	617名(男性369名、 女性248名)
出資金	15,054百万円	営業地区	東京都一円(離島を除く)
組合員数	103,551名	事業内容	預金・融資・内国為替・ 外国為替(取次)・ 代理業務・国庫金収納・ その他
総資産	686,470百万円		
預金積金残高	648,489百万円		
貸出金残高	341,701百万円		

大信の現状を知る編

CONTENTS

- P 1 トップメッセージ
- P 3 新・第2次中期経営計画
- P 5 令和2年9月期 業績概況
- P 8 財務諸表
- P 9 都内にひろがる
大信のネットワーク



“本物志向”で取組む

「新・第2次

～ “新たな時代の幕開け”

メインテーマ

全員・絶対・前進

— 全員で今やるべきことを、

本物志向で取組む重点施策

人材の育成

意識改革・行動改革

- 人材の育成・活用
- 人材の確保
- 職場・労働環境の整備

自律型
組織の
確立

経営体質の
強化

基本業務と基本活動の実践

- 業容の拡大と基盤拡充を両輪で実践
- 店舗戦略の再構築
- 事務処理の厳格化と円滑なコミュニケーション
- 営業力の強化
- 顧客管理態勢の強化
- 顧客ニーズへの対応
- リスク管理態勢の強化

収益構造の
再構築

コア業務の強化=コア業務収益の確保

- 大信5つの特性および事業性評価の実践を基本業務として定着させる
- 適正利回りの確保
- 資金運用力の強化
- 経費の効率・効果的な支出
- 収益構造の見直しと安定的に稼げる仕組づくり

役職員による
実践・追求

〈近未来〉

成長性

預金：6,500億円
貸出金：3,500億円

健全性

自己資本比率：10%以上
不良債権比率：適正水準

収益性

コア業務純益：20億円以上
当期純利益：15億円以上

大信丸のエンジンは役職員の相互信頼と行動、
ターボは役職員の稼働アップ

大信丸

キーワードは、「本物」と「前進」

中期経営計画

《組合内名称：Zプラン》

預貸和1兆円に向けての足固め～

絶対にやり遂げ、前進させる計画

実施期間

平成31年4月～令和4年3月

外部環境

- 社会** 人口減少、少子高齢化、中小企業の減少、低金利、東京オリンピック・パラリンピック、SDGs、ESG など
- 技術** フィンテック、AI、デジタル化
- 競争** 業態を越えた金融機関の競争、異業種の参入

適合

取引先の価値向上
取引先の成長・発展

大信の持続可能な
ビジネスモデル構築
に向けた
好循環の実現

(お客さまとの共通価値の創造)

お客さまからの信頼
身近で頼りになる大信
大信の収益力の向上
資産の健全性の向上

取引先・地域との共存共栄

大信の安定した経営基盤と収益基盤の確立
～大信の明るい未来～

本物のお客さま本位による
良質なサービスの提供
(良質な金融仲介機能の発揮)

解決

内部環境

- 人材の育成
- 対面営業力の強化
- 収益力の強化
- 健全性の維持
- 役職員間、本部と現場の意思疎通
- 愚痴を言わない組織風土
- ガバナンスの強化
- リスク管理の高度化
- 地域連携、地域貢献
- 職員の元気とやりがい

前進

前進

前進

経営方針の徹底



① 預金・貸出金の状況

■ 預金残高・貸出金残高の推移

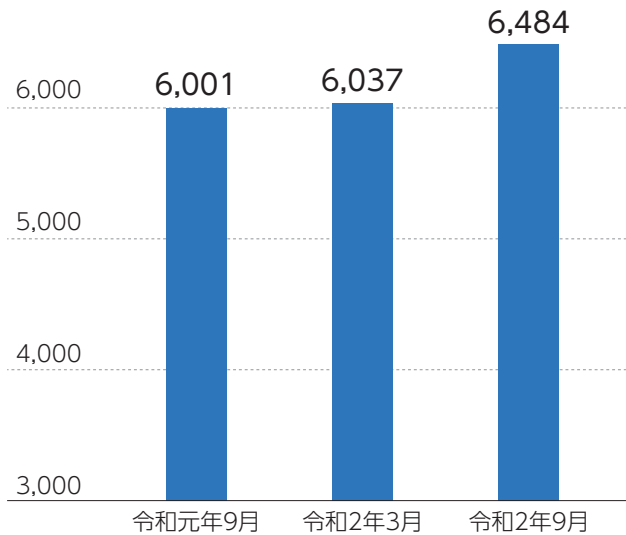
預金残高 **貸出金残高**
6,484億円 **3,417億円**

信用のバロメーターとも言うべき預金残高は、多くのお取引先の皆さまからご信頼をいただき、前年同期に対し483億円の増加となりました。

また、貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症に関連した融資を積極的に取組んだ結果、前年同期に対し326億円の増加となりました。今後もお取引先からのニーズに対して、安定的な資金供給に努めてまいります。

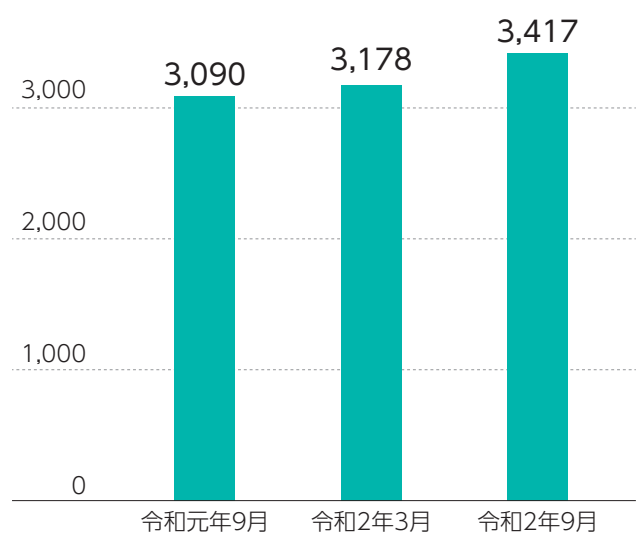
預金残高

(単位:億円)
7,000



貸出金残高

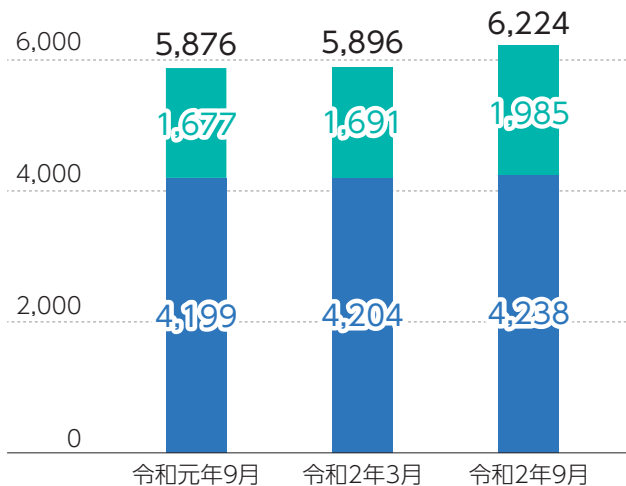
(単位:億円)
4,000



預金種目別平均残高

(単位:億円)
8,000

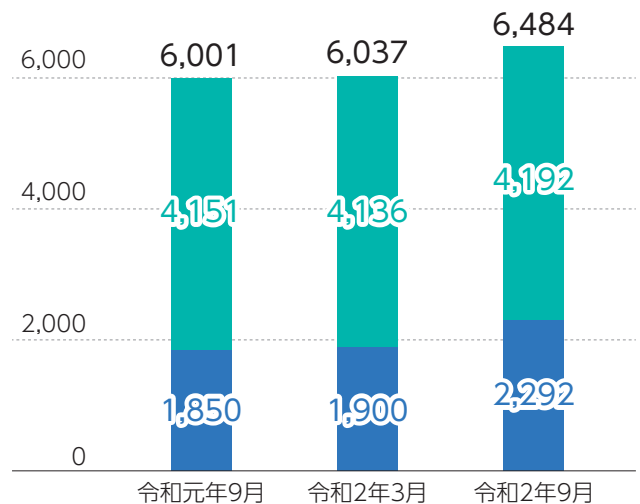
■ 流動性預金 ■ 定期性預金



預金者別預金残高

(単位:億円)
8,000

■ 個人 ■ 法人



② 収益の状況

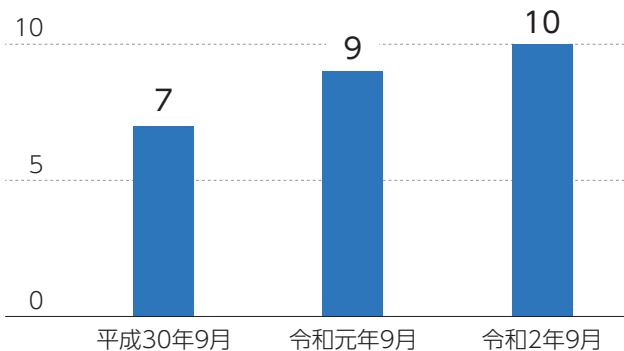
■ 業務純益・コア業務純益・経常利益・当期純利益の推移

業務純益	コア業務純益	経常利益	当期純利益
10億円	9億円	9億円	7億円

厳しい経済環境の中、本業である預貸金業務に特化した事業展開に取り組むとともに経費の削減等経営の合理化に努めました結果、本業の利益を示す業務純益、コア業務純益は10億17百万円、9億81百万円となり、それぞれ前年同期を66百万円、1億54百万円上回りました。経常的な収益力を示す経常利益は、9億86百万円、最終的な利益を示す当期純利益は7億49百万円となっており、それぞれ前年同期を87百万円、34百万円下回りました。

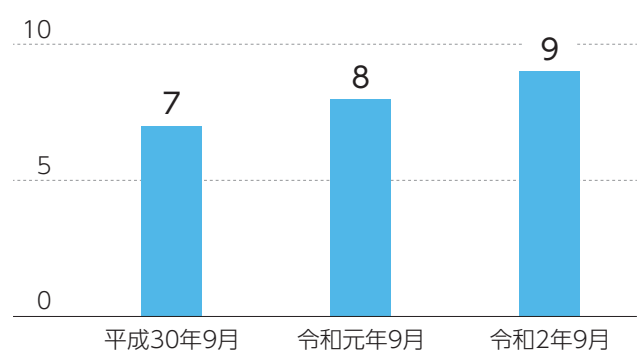
業務純益

(単位:億円)



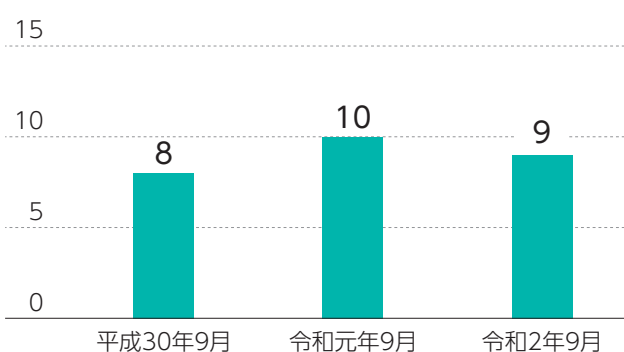
コア業務純益

(単位:億円)



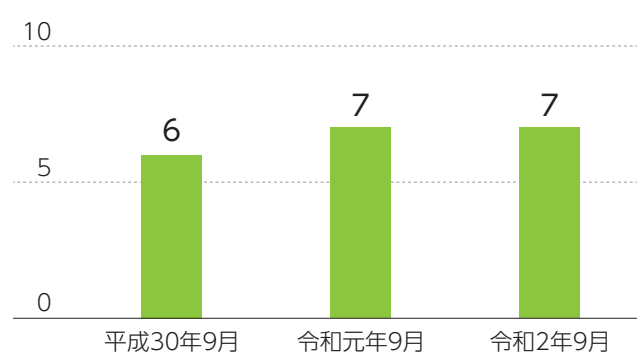
経常利益

(単位:億円)



当期純利益

(単位:億円)



用語解説



業務純益

金融機関の基本的業務に係る利益です。

経常利益

通常の営業活動に係る利益です。経常的な収益力を見る上で重要な利益です。

コア業務純益

「業務純益」から金融環境次第で大きく変動する「一般貸倒引当金繰入額」及び「国債等債券売却損益」を控除したものであり、より実質的な金融機関本来の業務による利益を表しております。

当期純利益

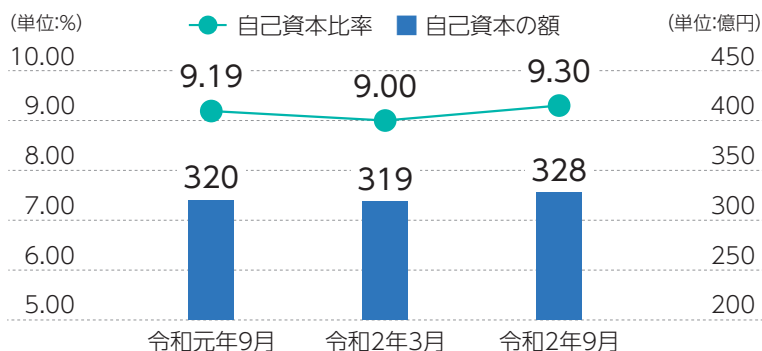
経常利益に特別利益と特別損失を加減し、法人税などを控除した利益で、最終的な利益を表します。

● 令和2年9月期 業績概況

③ 自己資本比率の状況

■ 自己資本比率と自己資本の額の推移

自己資本比率 **9.30%** 自己資本の額 **328億円**



自己資本比率の算出

自己資本比率は、金融機関の健全性を示す重要な経営指標です。信用組合には国内基準が適用され、4%以上であることが求められています。

● 自己資本比率の求め方

$$\frac{\text{自己資本の額 (328億円)}}{\text{リスク・アセット等 (3,532億円)}} \times 100 = 9.30\%$$

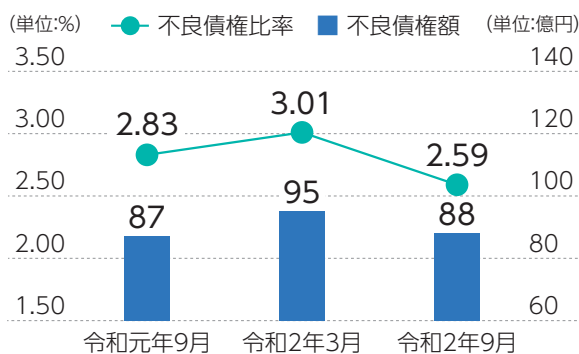
自己資本比率とは、リスク・アセット（保有する資産にその安全度に応じた掛目を乗じた金額）などに対して、出資金などの自己資本がどれくらいあるかを示す指標で、金融機関の健全性を表す代表的な指標です。

当組合の自己資本比率は、令和2年3月末に対して0.30ポイント上昇し9.30%となり、国内基準を大きく上回っております。

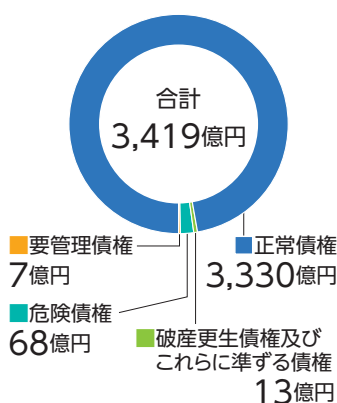
④ 不良債権の状況

■ 不良債権比率と不良債権額の推移

不良債権比率 **2.59%** 不良債権額 **88億円**



正常債権 **3,330億円**



お取引先に対する円滑な資金供給と経営改善・再生支援、オフバランス化等に取組み、不良債権額は令和2年3月期より7億円減少し88億円となりました。

その結果、不良債権比率は2.59%となり、令和2年3月期に対し0.42ポイント改善しました。

用語解説

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。自己査定区分における破綻先・実質破綻先が該当します。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。自己査定区分における破綻懸念先が該当します。

要管理債権

「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。自己査定における要注意先の一部が該当します。

正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。自己査定区分における要注意先の一部と正常先が該当します。





貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部				負債及び純資産勘定の部			
科目	令和2年9月	令和元年9月	令和2年3月	科目	令和2年9月	令和元年9月	令和2年3月
現金	7,163	6,597	6,908	預金積金	648,489	600,160	603,753
預け金	209,088	216,439	200,335	借入金	700	—	—
有価証券	110,751	88,476	97,463	その他負債	1,398	1,481	2,263
貸出金	341,701	309,031	317,877	賞与引当金	220	221	213
その他資産	4,205	4,018	4,168	退職給付引当金	343	323	343
有形固定資産	12,112	12,260	12,172	役員退職慰労引当金	288	333	355
無形固定資産	1,549	1,545	1,559	睡眠預金払戻損失引当金	7	15	7
繰延税金資産	277	—	574	偶発損失引当金	236	85	98
債務保証見返	139	169	153	繰延税金負債	—	167	—
貸倒引当金	△ 519	△ 660	△ 659	再評価に係る繰延税金負債	180	180	180
(うち個別貸倒引当金)	(△ 360)	(△ 505)	(△ 488)	債務保証	139	169	153
				負債の部合計	652,005	603,139	607,371
				出資金	15,054	15,126	14,907
				普通出資金	13,504	13,576	13,357
				その他の出資金	1,550	1,550	1,550
				資本剰余金	1,050	1,050	1,050
				利益剰余金	17,592	16,696	17,108
				組合員勘定合計	33,696	32,872	33,066
				評価・換算差額等合計	767	1,865	116
				純資産の部合計	34,464	34,737	33,182
資産の部合計	686,470	637,877	640,553	負債及び純資産の部合計	686,470	637,877	640,553

損益計算書

(単位：百万円)

科目	令和2年9月	令和元年9月	令和2年3月	科目	令和2年9月	令和元年9月	令和2年3月
経常収益	5,099	4,961	9,783	特別利益	—	0	0
資金運用収益	4,521	4,370	8,698	特別損失	2	25	25
貸出金利息	3,614	3,559	7,145	税引前当期純利益	984	1,048	1,648
預け金利息	128	142	278	法人税、住民税及び事業税	190	249	503
有価証券利息配当金	686	574	1,180	法人税等調整額	44	16	△ 49
その他の受入利息	91	94	94	法人税等合計	235	265	453
役員取引等収益	236	235	491	当期純利益	749	783	1,195
その他業務収益	40	128	218	繰越金(当期首残高)	514	516	516
国債等債券売却益	36	123	172	当期末処分剰余金	1,263	1,300	1,711
その他の業務収益	4	4	45				
その他経常収益	301	227	374				
貸倒引当金戻入益	139	29	—				
株式等売却益	145	191	355				
その他の経常収益	15	6	19				
経常費用	4,112	3,887	8,109				
資金調達費用	149	148	297				
預金積金利息	148	147	296				
その他の支払利息	0	0	1				
役員取引等費用	193	203	400				
その他業務費用	1	2	4				
経費	3,490	3,454	6,904				
その他経常費用	278	78	503				
経常利益	986	1,073	1,673				

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 本資料に掲載されている9月末の計数につきましては、仮決算のため監査法人の法定監査を受けたものではありません。

都内にひろがる 大信のネットワーク

本部 〒105-8610 東京都港区東新橋2-6-10 TEL 03(3436)0111(代)

有人店舗・出張所

店舗名	ATM							台数	住所	電話番号 (代表番号)
	平日 ◎印 8:00~21:00 △印 8:00~20:00	土曜 8:45~17:00	日曜 8:45~17:00	祝日 8:45~17:00	年末 (12/31) 8:45~17:00	年始 (1/1~3) 8:45~17:00	現金振込 (平日のみ) 8:45~15:00			
本店営業部	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒105-8610 港区東新橋2-6-10	03(3436)0121
品川駅東口支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒108-0075 港区港南2-3-1	03(3474)8326
十条支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒114-0034 北区上十条2-31-1	03(3907)5111
目黒支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒153-0064 目黒区下目黒6-18-25	03(3711)5656
高円寺支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒166-0003 杉並区高円寺南4-45-4	03(3318)1111
亀戸支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒136-0071 江東区亀戸1-27-9	03(3685)3351
蒲田支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒144-0052 大田区蒲田4-22-17	03(3732)3221
日暮里支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒116-0014 荒川区東日暮里5-11-5	03(3802)8181
新宿支店	△	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒160-0022 新宿区新宿5-1-1	03(3356)2151
三軒茶屋支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒154-0024 世田谷区三軒茶屋2-14-10	03(3424)3181
新小岩支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒124-0023 葛飾区東新小岩5-2-6	03(3691)9536
大塚支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1	〒170-0004 豊島区北大塚1-34-12	03(3918)6411
銀座支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒104-0061 中央区銀座2-12-9	03(3542)8051
吉祥寺支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町4-10-10	0422(22)9221
恵比寿支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒150-0021 渋谷区恵比寿西2-7-8	03(3463)0561
常盤台支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒174-0063 板橋区前野町2-4-2	03(3969)2535
戸越支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒142-0041 品川区戸越2-6-1	03(3786)5121
府中支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒183-0023 府中市宮町1-33-11	042(363)7511
押上支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒130-0002 墨田区業平4-1-2	03(3625)5001
田町駅前支店	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒108-0014 港区芝5-16-2	03(3453)3201
荏原町駅前支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒142-0053 品川区中延5-1-1	03(3786)8161
福生支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒197-0011 福生市福生1004	042(553)0611
品川支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒140-0004 品川区南品川2-17-6	03(3474)1333
西蒲田支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒146-0094 大田区東矢口3-20-5	03(3738)1106
駒沢支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒154-0012 世田谷区駒沢3-22-1	03(3414)0151
大井支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒140-0011 品川区東大井6-9-6	03(5493)1911
八王子営業部	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒192-0081 八王子市横山町24-1	042(642)0201
中野山王出張所	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	2	〒192-0042 八王子市中野山王3-5-9	042(626)4111
日野支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒191-0011 日野市日野本町2-18-11	042(582)2121
西八支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒193-0835 八王子市千人町2-3-18	042(661)6221
石川支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒192-0032 八王子市石川町522-4	042(646)3011
青山支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒107-0061 港区北青山2-12-32	03(3401)0145
保谷支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒178-0064 練馬区南大泉4-55-5	03(3924)3311
立川支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒190-0011 立川市高松町2-11-24	042(524)6681
堀ノ内支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒166-0013 杉並区堀ノ内3-3-15	03(3311)1141
三鷹支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1	〒181-0013 三鷹市下連雀3-35-1	0422(48)2311
東大和支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒207-0014 東大和市南街3-55-8	042(567)2011
上北台出張所	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	1	〒207-0023 東大和市上北台2-892-3	042(562)1581
荻窪支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒167-0043 杉並区上荻1-19-9	03(3391)1931
富士見台支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1	〒177-0034 練馬区富士見台2-18-5	03(3999)7163
浅草支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒111-0034 台東区雷門2-2-10	03(3842)2011
三ノ輪支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒110-0011 台東区三ノ輪1-8-1	03(3876)2251
花畑支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒121-0061 足立区花畑4-37-16	03(3859)2111
足立支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒123-0845 足立区西新井本町4-8-16	03(3898)2111



※窓口営業時間 短縮のお知らせ
新型コロナウイルス感染症の予防および拡大防止のため、当面の間、営業時間を午前9時～午後3時までに短縮させていただいております。

無人出張所

店舗名	ATM								住所
	平日	土曜	日曜	祝日	年末	年始	現金振込	台数	
	8:00~21:00 ◇印 8:00~18:00	8:45~17:00	8:45~17:00	8:45~17:00	(12/31) 8:45~17:00	(1/1~3) 8:45~17:00	(平日のみ) 8:45~15:00		
京浜蒲田出張所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1	〒144-0052 大田区蒲田4-5-7
十条銀座出張所	◎	◎	×	×	◎	×	×	1	〒114-0031 北区十条仲原1-5-9

●ATM設置状況 (令和2年11月末日現在)

区分	ATM
店舗内	72台
店舗外	2台
計	74台



各種セミナーの開催

だいしん経営研究会Web講演会 開催！

9月7日(月)、「第37回だいしん経営研究会講演会」が開催されました。今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止および会員皆さまの健康・安全面を第一に考え、Zoomによるオンラインミーティングにて、「今を生きる為に」と題し、大本山高尾山薬王院 執事 佐藤秀仁氏よりご講演いただき、45名の方が聴講されました。



「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当組合では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理等の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しております。

また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めております。

企業のライフステージに応じた取引先企業への取組み状況

1. 創業・新事業支援 (令和2年度)

● 融資実績	31件	158百万円
保証協会付創業支援融資	18件	91百万円
「しんくみ創業塾」に係る 創業者向け融資	1件	1百万円
日本政策金融公庫との 協調創業支援融資	1件	10百万円
東京都「女性・若者・ シニア向け」創業融資	11件	56百万円

3. 外部機関・外部専門家等への 相談等対応件数 (令和2年度)

東京都よろず支援拠点	5件
東京都「地域金融機関による 事業承継促進事業」	6件
東京都中小企業診断士協会	4件
東京商工会議所	1件
士業(会計士・税理士等)他	16件
● 合計	32件

2. 経営改善・事業再生支援 (令和2年度)

- 経営改善支援取組先：64先
- 経営改善支援取組率：6.9%

4. 経営改善支援等を目的とした 融資商品取組実績累計

- 商品名：「リニューアル」・「キャピタルプラス」・
「二世帯」・「オーナー」等
- 335件 62,082百万円
(平成15年4月～令和2年9月)

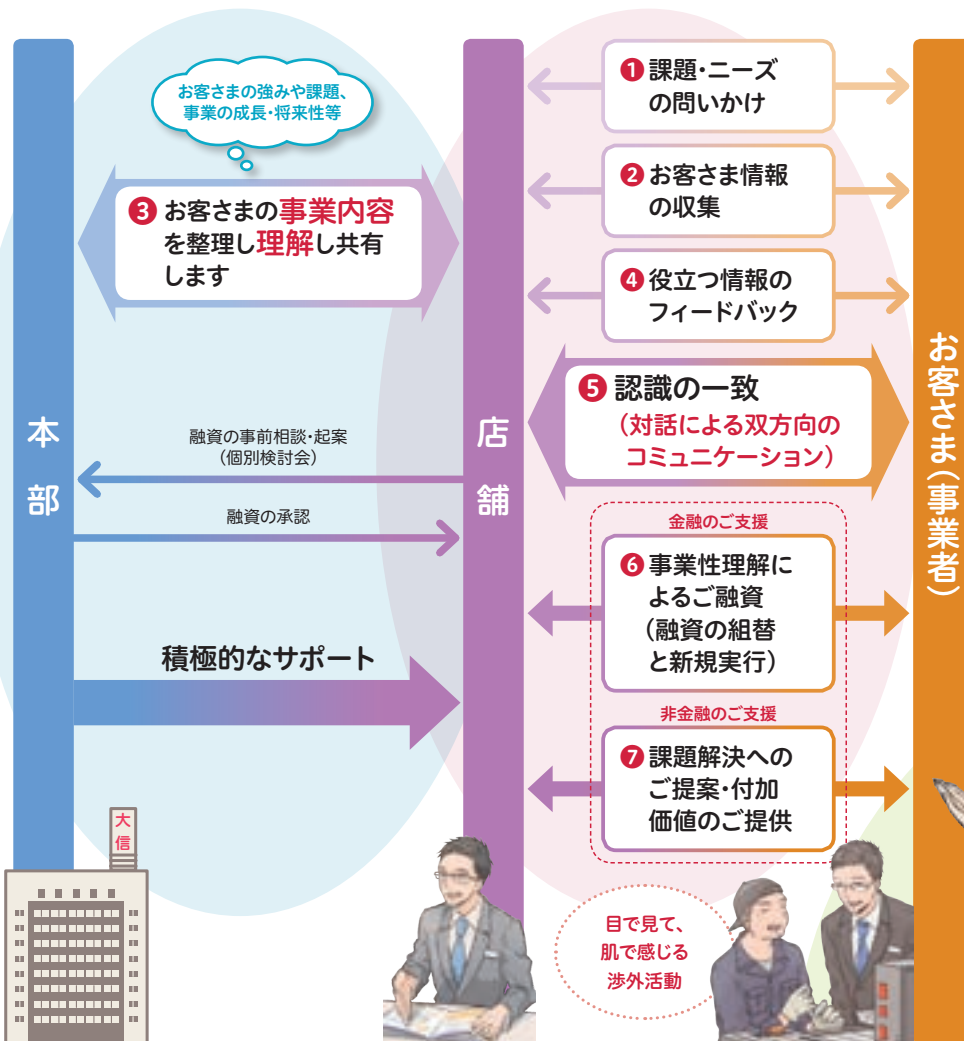
対話を通じた事業性理解への 取組みについて

大信は、お客さま一人ひとりの事業に寄り添い、対話による双方向のコミュニケーションを通じて、お客さまが直面するさまざまな経営課題について解決策をお客さまとともに考え、店舗および本部が一体となってご支援させていただきます。

そのために、渉外担当者をはじめ職員一人ひとりが、日々の業務活動を通じてお客さまの事業をよく理解し、お客さまのライフステージに応じて事業に役立つ情報をタイムリーにご提供するほか、将来に亘り安定的な成長・繁栄につながる“新たな価値”をお客さまとともに創造してまいります。

事業性理解に向けた7つのプロセス ～Seven processes～

大信はお客さまの**事業を理解**し、最適なお提案に向けて
骨身をおしまず行動いたします



大信は、地域の発展とお客さまとの共通価値の創造・共存共栄を果たすべく、金融仲介機能を十分に発揮し、皆さまのベストパートナー・バンクを目指して歩んでまいります。

地域経済活性化の取組み



非金融サービスを通じたご支援 ～ウィズ・

「だいしん 地域応援！助け合いプロジェクト」 ～新型コロナには負けない！組合員同士の絆～

※大信全店舗での取組みです。

だいしん“地域応援！助け合いプロジェクト”～新型コロナには負けない組合員同士の絆～は、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、影響を受けられたお取引先の優れた商品・製品・サービス等を約103,000人の大信の組合員の皆さまにご紹介することで、販売を助け合い、売上に貢献させていただく応援プロジェクトです。

7月から10月にかけて「Vol.6」まで発行いたしました“行って、買って、食べて応援し隊”のリーフレットでは、延べ132先のお取引先をご紹介させていただきました。

このほか、コロナ禍における“巣ごもり消費”に対応した「お取り寄せ特集」に続き、今後は皆さまのお住まいや勤務地のお近くのお店を集約してご案内する「地域版」も発行する予定です。

ぜひ一度、店舗の窓口・渉外担当者を通じて、このリーフレットをお手にいただき、大信ならではの「心・ふれあい」ハート・トゥ・ハートの組合員同士の絆を実感してください。



※リーフレットはA3見開きサイズで、窓口や渉外担当者によるお渡しのほか、店頭でのポスター掲示や、当組合ホームページ(上記)からもご覧いただけ、リーフレットに記載のURLからは、各掲載先のホームページにダイレクトに遷移できます。



大信本部では、本店営業部周辺のお取引先の「飲食店マップ」を作成し、組合役職員が昼食時に“行って・食べて”応援しています。



〔掲載させていただいたお客さまからの声〕

- 常連さんから声があり、反響があったことに驚いた。
- 普段、広告掲載しないが、今回声をかけていただいていたいい機会になった。
- 支店ロビーに貼ってあるポスターを見て来店された方がいた。
- ポスター掲示や、渉外担当者のリーフレット配りにとても感謝している。
- 信用組合ならではの、このような取組みを今後も続けて欲しい。
- すぐに結果が望める訳ではないが、長い目で期待したい。
- 大信の他店舗のお取引先から購入したいとの問い合わせがあった。
- 大信の他店舗のお客さんがパンフレットを持って来店された。
- 様々な形で支援したいという大信の気持ちが伝わり、ありがたく感じる。
- 良い取組み・企画だと思う。
- 特典等があれば良いと思う。

こちらでご紹介した各ホームページへのアクセスは、下記のQRコードからお願いいたします。



大信
ホームページ



MOTTAINAIもっと
ホームページ



東京都信用組合協会
ホームページ



コロナが導く「新たな相互扶助」の取組み～

「MOTTAINAI(もったいない)もっと」 新型コロナ対応事業者応援プロジェクト～私たちは共に乗り越える～

※信用組合業界全体の取組みです。

「MOTTAINAIもっと」は、平成28年12月に上部団体の全国信用協同組合連合会と伊藤忠商事、ミュージックセキュリティーズ、毎日新聞社の4社がそれぞれの分野を活かし、地域の活性化に貢献するべく始めた取組みで、購入型・寄付型(非投資型)のクラウドファンディングです。

本プロジェクトは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止への対応により事業の休止や縮小を余儀なくされている全国の事業者の皆さまへのサポートとして、インターネットを通じて販路拡大の応援を呼び掛けるものです。

令和2年5月下旬のスタート以降、全国各地の信用組合とお取引のある178事業者が参加され、当組合からは有限会社フィンランド洋菓子店さん(吉祥寺支店お取引先)、株式会社桑原ハムさん(押上支店お取引先)が参加され、早々に募集目標口数を達成することができました。

この秋「MOTTAINAIもっと」は、事業者の皆さまのより効果的なPRを可能とするため、サイトをリニューアルし、支援者の共感の輪がより大きく広められるようにメッセージ性を前面に打ち出した「新型コロナ対応事業者応援プロジェクト～私たちは共に歩き出す～」をスタートさせ、販路拡大に自ら積極的に取組むお取引先への支援ツールとしてご提供しています。



有限会社フィンランド洋菓子店さん



株式会社桑原ハムさん



「くみちゃんのお友達紹介」

～お取引先の事業者を信用組合のマスコットガール「くみちゃん」が専用ホームページでご紹介～

※都内信用組合全体の取組みです。



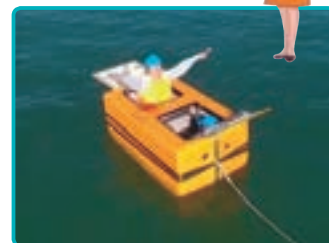
十条 篠原演芸場さん
(十条支店)

板橋天然温泉スパディオさん
(常盤台支店)



田村酒造場さん
(福生支店)

光レジン工業さん
(日野支店)



お知らせ

「越後」逸品WEB商談会」開催決定!(令和3年1月21・22日)

「塩沢信用組合(新潟県南魚沼市)」のお客さまと「都内6つの信用組合」のお客さまをWEB上でつなぐ商談会です。

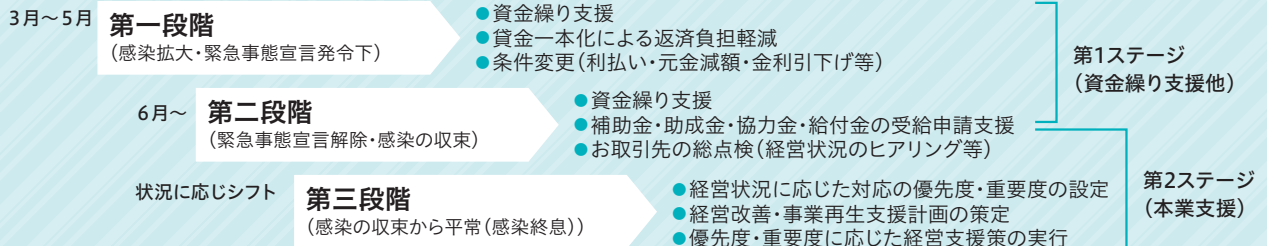


事業先の資金繰り対応と連動した本業支援活動の強化に向けて — 「新型コロナウイルス感染症対応プロジェクトチーム (略称:コロナ対応PT)」を設置 —

【新型コロナウイルス感染症に対するお取引先支援及び態勢整備】

お取引先への本業支援(共通価値の創造)

- 感染拡大時における、第一段階では、事業継続と倒産防止のための金融支援に積極的に取り組みます。
- 危機収束後の第二段階以降は、金融支援に加えて非金融型の本業支援が主体となりますことから、これまで以上に、ヒアリングを通じた事業性評価により経営者の皆さまと課題・問題を共有し、ハンズオンでの伴走型支援を展開いたします。



こうした各段階の取組みこそが、当組合が目指している事業性評価を基にした「良質な金融仲介機能の発揮=本物のお客さま本位による良質なサービスの提供」そのものです。

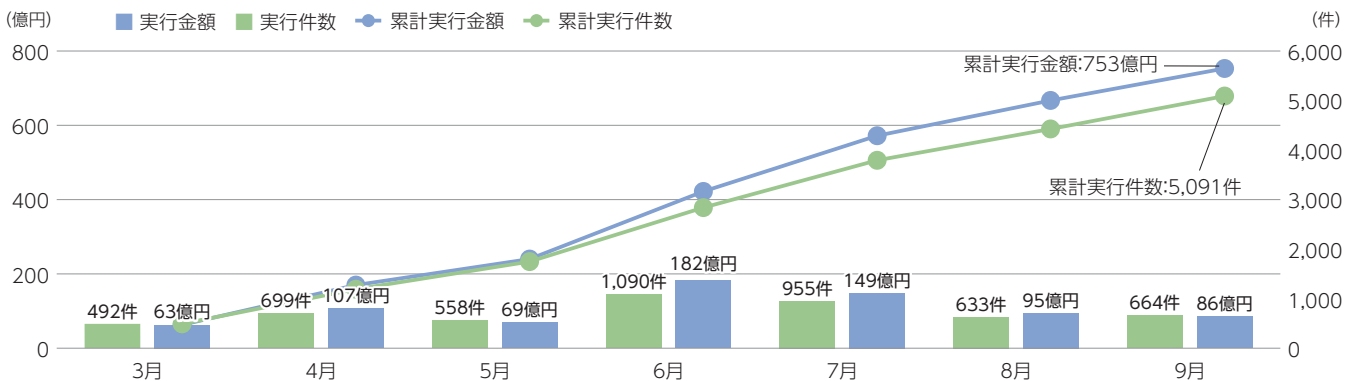
- 主な本業支援策 ①販路開拓支援 ②リストラ型事業再生支援 ③事業承継支援 ④その他支援(IT化・情報発信、大信ネットワークの活用、等)

金融サービスを通じたご支援

これまでの資金繰り支援の状況

東京都の制度融資による実質無利子・無担保融資を中心に、お取引先の中小企業者・個人事業者への金融支援を下表のとおり実施いたしました。

●新型コロナウイルス感染症関連の融資実行累計 (令和2年3月～9月)



「新型コロナウイルス感染症の影響に係るご相談窓口」の設置

令和2年2月21日より、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるお客さまからの資金繰り等、ご融資全般に関するご相談にお応えすべく、全店舗に相談窓口を設置しております。

新型コロナウイルス感染症への取り組み

大東京信用組合は、今こそお客さまならびに地域社会に寄り添い、協同組織金融機関としての使命を果たすべく、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているお客さまの資金繰りや事業継続のご支援を最優先課題として取り組んでおります。

資金繰り支援(第1ステージ)から 本業支援(第2ステージ)へ、 「令和2年度 本業支援に係る基本方針」を策定!

「新型コロナウイルス感染症対応プロジェクトチーム」では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているお客さまへの本業支援を更に一歩進めるため、本業支援についての考え方やお客さまとのコミュニケーションの拡充方法などをまとめた「令和2年度 本業支援に係る基本方針」を10月6日付で策定し、これまでの「事業継続のための資金繰り対応」から、「本業支援」を中心とする第2ステージをスタートしております。

基本方針は、アフターコロナの経済環境も想定し、真にお客さまに役立つ本業支援に取り組むための基本的な考え方をまとめたもので、これを基に全役職員が共有・実践を図ることとしております。



基本方針の周知に向けて、全店舗にて説明会を開催いたしました(立川支店での開催風景)

大信の感染防止に向けた取り組み ～より安全に、安心してお取引いただくために～

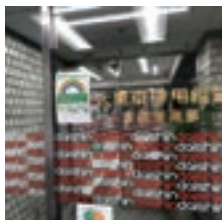
大信は、東京都が策定した「事業者向け感染拡大防止ガイドライン」に基づく感染防止対策を徹底しています。

- 「新型コロナウイルス感染症に係る対策本部」を設置(令和2年2月27日)
- 「新型コロナウイルス感染症対応基本計画書」および「業務継続計画(BCP)」の暫定版を策定
- 「感染防止徹底宣言ステッカー」の店頭掲示(令和2年9月15日)
- 全職員に出勤前の健康チェックと業務中のマスク着用の徹底
- 利用者用の消毒備品等の設置
- 店舗内施設・設備の定期的な消毒・換気の実施
- 店舗の受付カウンター・応接室に「飛沫防止スクリーン」を設置
- ソーシャル・ディスタンスを保つ「間隔を空けてお並びください」とのフロアテープの表示
- 応接時の「フェイス・シールド」の使用

感染拡大防止に向けてお客さまのご理解とご協力をお願いいたします。



正面入口



ATMコーナー入口



本店営業部受付カウンター

感染防止徹底宣言



(思いやりの距離・社会的距離)
ソーシャル・ディスタンス
SOCIAL DISTANCE



大信のSDGs宣言

大信は、金融サービスの提供にとどまらず、地域社会の課題解決と成長を通じて、持続可能な社会の実現を目指し、様々な取組みを実践しています。

「大信SDGs宣言」について

大信は、令和元年10月1日、「大信SDGs宣言」を制定・公表いたしました。大信はこれからも、お客さまとの信頼関係を大切に、役職員一人ひとりが地域との共存共栄と地域社会の発展に向けて行動してまいります。



「大信SDGs宣言」

大東京信用組合は、「地域に密着し地域社会に奉仕する」を经营理念として、お客さまとの「心・ふれあい(ハート・トゥ・ハート)」の信頼関係を大切にしております。このことは、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)と合致するものであり、これからも、この基本姿勢に基づき、金融サービスの提供にとどまらず、更なる取組みを強化し、地域社会の課題解決と成長を通じて、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

また、役職員一人ひとりが、その実現に向けた取組みを自らのこととして捉え、日常生活で行える身近な取組みを実践してまいります。

大信はすべての人を大切にします！

ESG/SDGs取組み事例

ESG投資の実施

- ESGとは、E(nvironment)環境、S(ocial)社会、G(overnance)企業統治の頭文字をとったものですが、企業経営や成長においてこれらの観点を組み込むことによって、持続可能な社会の形成に役立つことを示した投資における判断基準の一つです。
- 大信では、平成31年2月より、主に債券投資の購入時にESGによる判断基準を優先的に適用しております。
具体的には、
 - ◆ 債券の発行体が環境改善効果をもたらすことを目的としたプロジェクト資金を調達するためのグリーンボンド、
 - ◆ 社会的課題の対処に向けた事業を資金用途とするソーシャルボンド、
 - ◆ 環境・社会的課題の解決に資する事業のためのサステナビリティボンドの各区分となります。
- 令和2年9月までのESG投資実績は、下表のとおりであります。
なお、投資先の内容等については、当組合ホームページをご覧ください。

(額面単位:百万円)

	令和2年9月		令和2年3月まで		累計	
	銘柄数	額面	銘柄数	額面	銘柄数	額面
グリーンボンド	10	1,000	26	4,600	36	5,600
ソーシャルボンド	1	100	8	900	9	1,000
サステナビリティボンド	4	500	6	900	10	1,400
合計	15	1,600	40	6,400	55	8,000

世界の投資家が重視し始めている、ESG投資

ESG投資とは、環境・社会・企業統治に配慮している企業を重視・選別して行う投資のことです。ESG評価の高い企業は事業の社会的意義、成長の持続性など優れた企業特性を持つと言えます。

環境に配慮(二酸化炭素の排出量が多くないか、環境汚染をしていないか、再生可能エネルギーを使っているかなど)



社会に貢献(地域活動への貢献、労働環境の改善、女性活躍の推進など)

収益を上げつつ、不祥事を防ぐ経営

新生「大井支店」オープン

このたび、東大井出張所を大井支店に統合し、東大井出張所の建物をリニューアルして、令和2年11月24日に新生「大井支店」としてオープンいたしました。



オープン当日の店内の様子

一般財団法人あすなろ会

一般財団法人あすなろ会に対して58年間、
物心両面にわたり支援

(一財)あすなろ会の活動は、英会話教室・茶道教室などの教養教室の他、祝成人・新年のつどい、あすなろ祭等のイベント、さらに中小企業経営者を対象とした中小企業経営環境研究会、大信と共催の合同時局講演会等多岐にわたり行われています。大信では、このような(一財)あすなろ会の活動に対して基金・寄付金などを拠出、同会事務所の提供、職員の派遣などの支援を継続しております。これらの活動基盤は大信と大信全店舗のお取引先1,000社を超える賛助会員のご協力によって支えられております。

『お客様相談室』

大信は、お取引の店舗窓口でご相談等をお受けするほか、本部でも、お客さまとのホットラインの役目を担う「お客様相談室」を設置し、お客さまが、安心してお取引いただけるよう、信頼関係強化に努めております。

フリーダイヤル

0120-402-003

受付時間

当組合営業日の9:00~17:00



CONTENTS

大信の取組みを知る編

大信の
トピックス

P18へ

新型コロナウイルス
感染症への取組み

P16へ

大信の
SDGs宣言

P17へ

地域経済活性化の
取組み

P12へ



大東京信用組合 2020年度上半期 ディスクロージャー誌〈情報編〉

大信 Report

2020

大信の取組みを知る編

2020年4月1日から
2020年9月30日まで



大信の取組みについてはこちらから

大東京信用組合 本部

〒105-8610 東京都港区東新橋2-6-10
TEL 03(3436)0111(代表)

心・ふれあい
大東京信用組合
<https://www.daisin.co.jp/>